

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	中期 目標											
I-1-(2)-⑤ 子どもの 特性を 伸ばす 教育の 充実	1	④ ⑰	博物館セカンド スクール事 業	自然 史・ 歴史 博物 館普 及課	博物館を第二の 学校と位置づけ、 修学旅行・社会見 学など学校教育の 一環として、子ど もたちの博物館利 用の促進を図るも のである。	学校団体誘致数	目標	1,000 団体	1,000 団体	1,000 団体	1,000団 体以上 (毎年 度)	継続	1,143	1,143	維持	16,075	遅れ	ICTを活用したオンライン 授業などで学校教育支援をさ らに推進する。 また、教員研修等の対象を 市外の学校にも広げるなど学 校団体誘致を強化する。	やや 遅れ	引き続き展示や企画展等の 充実、周辺施設との連携など により、来館者やリピーター の増加を図る。		
							実績	379 団体														
							達成率	37.9 %														
						学校関係入館者数	目標	70,000 人	70,000 人	70,000 人	70,000 人 以上 (毎年 度)	継続	22,486	17,921	減額	30,950	やや 遅れ	リニューアルした常設展示 やより多くの市民が興味を持 つ企画展の開催により、若年 層等の入館者の増加を図り、 市民が文学に接する機会を提 供していく。	順調	家庭教育学級は、コロナ禍 においても開設できるよう環 境整備を図る。 併せて、市民センターを核 とした家庭教育学級の実施及 び運営方法について、関係者 へのアンケートなどをもとに 改善を図る。 また、家庭教育学級に参加 できない保護者への取組とし て、引き続き、家庭教育力の 向上や子育て支援につながる 動画等をインターネットで配 信し、情報提供を行う。	順調	家庭教育学級は、コロナ禍 においても開設できるよう環 境整備を図る。併せて、市民 センターを核とした家庭教育 学級の実施及び運営方法につ いて、関係者へのアンケート などをもとに改善を図る。 家庭教育学級に参加できな い保護者への取組として、家 庭教育力の向上や子育て支援 につながる動画等を引き続き インターネットで配信し、情 報提供を行う。
							実績	20,258 人														
							達成率	28.9 %														
I-1-(3)-② 家庭教 育支援 の充実	3	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・ 学校パート ナーシップ事 業	生涯 学習 課	家庭教育学級や 子育てサポーター などの活動を通じ て、保護者の不安 を軽減するため、 関係機関や関係部 局と連携しながら、 情報提供、啓 発活動を行い、保 護者が家庭教育に ついて学ぶ機会 の充実、子どもの 基本的な生活習慣 定着への理解を促 すための情報提供 、啓発活動を進 める。	家庭教育学級長向 けアンケート満足 度	目標	85 %	85 %	85 %	85% (毎年 度)	継続	5,150	5,150	維持	9,150	順調	コロナ禍においても家庭 教育学級を開設できるよ う環境整備を図る。 併せて、市民センターを 核とした家庭教育学級の 実施及び運営方法につ いて、関係者へのアン ケートなどをもとに改 善を図る。 また、家庭教育学級に 参加できない保護者へ の取組として、家庭 教育力の向上や子育て 支援につながる動画 等をインターネットで 配信し、情報提供を 行う。	順調	家庭教育学級は、コ ロナ禍においても開設 できるような環境整備 を図る。併せて、市民 センターを核とした家 庭教育学級の実施及び 運営方法について、関 係者へのアンケートな どをもとに改善を図 る。 家庭教育学級に参加 できない保護者への取 組として、家庭教育力 の向上や子育て支援 につながる動画等を 引き続きインターネット で配信し、情報提供 を行う。		
							実績	71.7 %														
							達成率	84.4 %														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
I-1-(3)-③ 地域全体が教育を支える社会の実現	4	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	生涯学習課	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。	家庭教育学級長向けアンケート満足度	—	目標 85 %	実績 71.7 %	達成率 84.4 %	85 % (毎年度)	継続	5,150	5,150	維持	9,150	順調	市民センターを核とした家庭教育学級の実施及び運営方法について、関係者へのアンケートなどをもとに改善を図る。 また、コロナ禍においても家庭教育学級が実施できるよう環境整備を図る。	順調	コロナ禍においても家庭教育学級を開設できるよう環境整備を図る。 また、地域全体で家庭教育を支えるため、子育てサポーターを養成し、実際の活動につながるよう、市民センターや関係局との協議を継続する。
I-3-(1)-① 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	5	③ ④ ⑤ ⑪ ⑬ ⑯ ⑰	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。 また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	生涯学習市民講座参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 前年度(44,429人)以上	実績 56,844人	達成率 127.9 %	前年度以上 (毎年度)	継続	13,245	13,027	維持	6,900	順調	地域に根付いた活動を実施するため、地域の実情を反映し、地域課題の解決につながる講座を増やしていく。 また、オンライン環境の整備を進めるとともに、オンラインやWeb動画を活用した講座を実施できるよう市民センター館長・職員等の研修を充実させる。	順調	地域に根付いた活動を実施するため、地域の実情を反映し、地域課題の解決につながる講座を提供できるよう、市民センター館長研修の充実を図る。 生涯学習推進コーディネーター配置事業については、館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて、生涯学習推進コーディネーターの配置の意義・効果を周知し、生涯学習推進コーディネーターの配置割合の増加に向け取り組んでいく。
	6	④ ⑪ ⑰	生涯学習推進コーディネーター配置事業	生涯学習課	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置割合	56.2% (H25年度)	目標 60 %	実績 50.8 %	達成率 84.7 %	60% (毎年度)	継続	6,686	6,052	減額	3,650	順調	生涯学習推進コーディネーター配置事業については、市民センター館長研修などで、コーディネーターの必要性や人材の見つけ方をさらに周知していく。 また、コーディネーターの魅力を高めていくため、引き続き資質向上を図る研修等を行う。		

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標				
I-3-(2)-① 地域活動を リードする人材の育成	7	④ ⑪ ⑰	北九州市民カ レッジ事業	生涯学 習 総合 センター	市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。 北九州市民カレッジの講座は、生涯学習総合センター主催コース(まちづくり・人材育成系、総合・教養系の2コース)と高等教育機関提携コースを前期・後期の2期で実施。	受講者数	1,682人 (H30年度)	目標 1,530人	実績 799人	達成率 52.2%	1,700人	1,700人	1,700人	1,700人	継続	4,438	4,229	維持	20,700	やや遅れ	事業の質を確保しながら、多様化する課題の把握に努めるとともに、高等教育機関等との連携をさらに進めていく。			
	8	③ ④ ⑤ ⑪ ⑬ ⑯ ⑰	生涯学習活動 促進事業	生涯学 習 課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。 また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	生涯学習市民講座 参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 前年度 (44,429人) 以上	実績 56,844人	達成率 127.9%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	継続	13,245	13,027	維持	6,900	順調	生涯学習市民講座が、より地域の特色を生かした講座、地域課題解決に向けた講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、多くの方に多様な学習機会を提供していく。 また、オンライン環境の整備を進めるとともに、オンラインやWeb動画を活用した講座を実施できるよう市民センター館長・職員等の研修を充実させる。	地域に根付いた活動を実施するため、地域の実情を反映し、地域課題の解決につながる講座を増やしていく。 また、オンライン環境の整備を進めるとともに、オンラインやWeb動画を活用した講座を実施できるよう市民センター館長・職員等の研修を充実させる。	順調	地域活動をリードする人材発掘、育成、活動を図るため、学習者の活動意向を把握し、活動につなげるための仕組みづくりなど支援を行う。
						生涯学習活動に関する満足度	96.3% (H25年度)	目標 95%	実績 75.5%	達成率 79.5%	95%	95%	95%	95%以上 (R7年度)										
9	④ ⑪ ⑰	地域課題解決のための人材 活用支援事業	生涯学 習 課	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活動までを体系的に支援し、地域力アップにつなげる仕組みをつくる。学んだ成果を地域に活かす講座の開催、地域活動をリードする人材育成事業(市民センター館長等研修など)及び多様な機関との連携強化を実施する。	「地域活動をリードする人材やボランティア活動に参加する人材が増加していると感じる」に肯定的な回答をした割合	37.6% (H27年度)	目標 35%	実績 30.1%	達成率 86.0%	35%	35%	35%	50% (R7年度)	継続	540	1,240	増額	5,400	順調	地域活動をリードする人材発掘、育成、活動を図るため、学習者の活動意向を把握し、活動につなげるための仕組みづくりなど支援を行う。 また、オンライン環境の整備を進め、市民センター館長・職員等研修のオンライン化を図る。				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
I-3-(2)-② 地域を支える ボランティア の育成	10	④ 17	NPO・市民活 動促進事業	市民 活動 推進 課	市民活動の促進 に加え、NPOと行政 の協働を推進する ため、活動や協働 等に関する相談・ 助言、情報提供、 研修・啓発等を実 施する。	サポートセンター 利用者数	目標	20,000 人	20,000 人	20,000 人	20,000 人 (毎年 度)	継続	17,434	17,434	維持	19,725	順調	市民活動の更なる促進のため、新たな活動参加者の掘り起こしとともに、市民活動団体を育成するため、セミナーなどの実施や相談、情報提供の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。	
							実績	8,256 人													
							達成率	41.3 %													
						新規設立NPO法人 数	目標	15 法人	15 法人	15 法人	15法人 (毎年 度)										
実績	14 法人																				
達成率	93.3 %																				
II-1-(1)-② 市民の消費生 活の安定と向 上	11	④	消費者啓発の 推進	消費生 活 セン ター	悪質化・巧妙化 する消費者被害を 未然に防止するた め、法律相談会や 消費者啓発・教育 講座等、消費者自 身が危機回避や被 害にあった場合の 適切な対処法を身 に付けるための各 種事業を実施する など、啓発の推進 や支援を行う。	消費生活センター の認知度	目標	90 %	90 %	90 %	90%以 上 (毎年 度)	継続	11,755	7,510	減額	8,075	順調	今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。 また、イベントや啓発活動の見直しにより、経費の削減を図る。	順調	今後も効果的・効率的な啓発活動に努め、相談窓口の周知とともに、賢い消費者の育成を図り、被害防止に取り組んでいく。 また、イベントや啓発活動の見直しにより、経費の削減を図る。	
							実績	92% (H23年 度)	92.1 %												
							達成率	102.3 %													
						消費生活センター 等に相談又は相談 を勧める市民の割 合	目標	90 %	90 %	90 %	90%以 上 (毎年 度)										
							実績	91.5% (H26年 度)	93.7 %												
							達成率	104.1 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
II-1- (3)-① 「北九 州市安 全・安 心条 例」の 制定と 安全・ 安心に 関わる 施策の 推進	12	①	日本トップク ラスの安全・ 安心なまちづ くり関連事業	安全・ 安心 推進 課	警察、関係団体 等と連携し、市民 等の防犯意識の向 上や自主防犯活動 の活発化、安全・ 安心な環境の整備 などに取り組み、 日本トップクラス の安全・安心なま ちづくりを推進す る。	防犯パトロール活 動への参加者数	目標	前年度比 (45,087 人) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	6,929	6,525	減額	15,900	順調	地域防犯活動の活性化を図 るため、引き続き、地域で行 われる自主防犯活動の支援を 行うとともに、事業者等によ る「ながら見守り」活動の参 加を促進し、地域を見守る目 の充実を図る。 加えて、市民の体感治安向 上に向けて、改善した本市の 治安状況や安全・安心なまち づくりについて、分かりやす い情報発信に取り組む。			
							実績	14,170 人 (H27年 度)	47,538 人												
							達成率	105.4 %													
						市民が感じる治安 状況（体感治安）	目標	前年度比 (87.2%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)										
							実績	73.7% (H27年 度)	84.1 %												
							達成率	96.4 %													
	13	①		子どもと女性 の犯罪被害防 止対策事業	安全・ 安心 推進 課	子どもや女性の 犯罪被害を防止す るため、子ども自 身や子どもを見守 る保護者、女性を 対象とした安全セ ミナー等を開催 し、防犯意識や知 識の向上を図る。	「安全セミナー」 「地域安全マップ づくり」延べ実施 校	目標	185 校	215 校	215 校	215校 (R5年 度)	継続	2,886	2,416	減額	15,900	順調	安全セミナーについて、現 在、市内や全国で多発してい る犯罪についての情報や対処 方法などをセミナー内に取り 入れるなど、さらに効果的な 事業となるよう見直しを図 る。	市民の体感治安の向上を図 るため、引き続き安全・安心 に関する活動の推進を図るほ か、効果的・効率的に安全・ 安心なまちづくりに向けた情 報や取組を市内外に発信して いく。	
								実績	35校 (H25年 度)	158 校											
								達成率	85.4 %												
							性犯罪認知件数	目標	前年件数 (52件) 減	前年件数減	前年件数減	件数減 (毎年)									
								実績	104件 (H25年)	51 件											
								達成率	101.9 %												
14	①		安全・安心総 合相談ダイヤ ル事業	安全・ 安心 推進 課	市民生活の身近 な安全・安心に関 する相談を受付け る「安全・安心総 合相談ダイヤル」 を円滑に運用し、 市民の相談機会の 充実と不安感解消 を図る。	安全・安心総合相 談ダイヤルの認知 度	目標	前年度比 (36.1%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	19,178	18,454	維持	15,900	順調	相談体制を見直し、より効 率的で効果的な運用を図ると ともに、市民通報に対応した パトロールを重点的に行う。			
							実績	22% (H27年 度)	31.8 %												
							達成率	88.1 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
II-1-(3)-② 防犯活動の強化	15	⑤ ①	地域防犯対策 事業	安全・ 安心 推進 課	北九州市安全・ 安心条例では、 「市民等は安全・ 安心に関する意識 を自ら高め、行動 すること」「市及 び市民等は相互に 連携を深め、防犯 活動を協力して推 進すること」と定 められている。こ の事業では、市民 の防犯意識を高 め、地域住民の自 主防犯活動を促進 し、安全・安心を 実感できるまちの 実現を図る。	街頭犯罪件数	6,612件 (H25年)	目標	前年比 (2,019件) 減	前年比減	前年比減	前年比 減	継続	28,841	25,179	減額	15,900	順調	生活安全パトロール隊の多 くが結成から10年以上を経過 しており、メンバーの高齡 化・固定化が進んでいること から、パトランキタキュー等 の防犯活動団体との連携を促 進することによって、地域の 犯罪抑止力の強化を図る。 地域の巡回及びパトロール 隊の支援を行う安全・安心指 導員のマニュアル整備等を行 い、街頭犯罪対策を効率的に 実施することにより経費を削 減する。	引き続き、地域住民による 自主防犯活動の促進に加え て、それらの取組を市内外に 広く発信することで、体感治 安の向上及び安全・安心を実 感できるまちの実現を図ると ともに、整備した防犯灯及び 防犯カメラの適正な維持管 理・運用を行う。 また、新たな防犯カメラの 設置を適正に行っていく。	
								実績	2,182 件												
								達成率	91.9 %												
						市民が感じる治安 状況（体感治安）	73.7% (H27年 度)	目標	前年度比 (87.2%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)									
								実績	84.1 %												
								達成率	96.4 %												
16	⑥	防犯灯設置事 業	安全・ 安心 推進 課	夜間における犯 罪の発生を未然に 防止し、公衆の通 行の安全を図るた め地域と市が協力 しながら、防犯灯 を設置。 防犯灯の設置に あたっては、LED防 犯灯の設置促進を 図り、町内会等の 地域の防犯灯の設 置のため費用の一 部を助成し、明る く安心して生活で きるまちづくりを 推進。	刑法犯認知件数	9,682件 (H27年)	目標	前年比 (5,145件) 減	前年比減	前年比減	前年比 減 (毎年)	継続	64,197	64,197	維持	3,435	順調	引き続き、防犯灯のLED化 を推進しながら、地域への補 助等を実施する。			
							実績	5,109 件													
							達成率	99.3 %													
					市民が感じる治安 状況（体感治安）	73.7% (H27年 度)	目標	前年度比 (87.2%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)										
							実績	84.1 %													
							達成率	96.4 %													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
17	16		防犯カメラ事業	安全・安心推進課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑制し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理を行う。 更に、近年開発が進む駅周辺などに新たに防犯カメラを設置し、適切な維持管理を行う。	市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標	前年度比 (87.2%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	拡大	57,951	77,472	増額	3,435	順調	市の主要駅周辺に新たに防犯カメラを設置するとともに、既設置の防犯カメラの保守・点検を適切に行うことにより、安定した運用を行う。また、繁華街防犯カメラの更新を行う。
							実績	84.1 %											
							達成率	96.4 %											
						刑法犯認知件数	9,682件 (H27年)	目標	前年比 (5,145件) 減	前年比減	前年比減	前年比 減 (毎年)							
							実績	5,109 件											
							達成率	100.7 %											
18	16		防犯カメラ設置補助事業	安全・安心推進課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置する際の経費の一部を補助することで、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取組を推進する。	刑法犯認知件数	9,682件 (H27年)	目標	前年比 (5,145件) 減	前年比減	前年比減	前年比 減 (毎年)	継続	13,720	13,720	維持	3,435	順調	防犯カメラ設置補助制度を継続するにあたり、申請実績に応じた予算を確保し、地域の防犯活動の十分な支援を行う。今後も地域団体等に防犯カメラ補助金制度の啓発を行う。
							実績	5,109 件											
							達成率	100.7 %											
						市民が感じる治安状況（体感治安）	73.7% (H27年度)	目標	前年度比 (87.2%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)							
							実績	84.1 %											
							達成率	96.4 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
II-1-(3)-③ 暴力団 追放運 動の推 進	19	①	暴力追放の推 進	安全・ 安心 推進 課	社会全体で暴力 団を排除する取組 を推進するため、 事業者・市民の暴 排意識を高める市 民暴力追放総決起 大会や暴力追放強 調月間による集中 的な啓発活動など を実施し、官民一 体となって取り組 む。	暴追対策に対して 評価した市民の割 合	48% (H25年 度)	目標	前年度比 (78%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	10,525	9,858	減額	12,850	順調	警察・行政・市民が連携・ 協力し、安全・安心なまちづ くりを促進する環境を整える とともに、暴力追放に対する 市民意識の高揚を図る。 また、市民の不安感の払拭 に向けて、警察などの関係機 関と連携した暴追活動を引き 続き行う。 暴力追放啓発推進事業にお ける、暴力追放研修の資料作 成費の見直しにより、経費の 削減を図る。	引き続き官民一体となった 暴力追放の取組を進めるとと もに、より細やかな民事介入 暴力相談の実施や内容の充実 等を図っていく。
								実績	79.4 %											
20	①		民事介入暴力 相談事業	安全・ 安心 推進 課	市民生活への暴 力団等の介入を排 除し、安全・安心 なまちづくりを図 るため、民事介入 暴力相談を実施。	暴追対策に対して 評価した市民の割 合	48% (H25年 度)	目標	前年度比 (78%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	2,855	2,249	減額	4,300	順調	相談体制を見直し、より効 率的で効果的な運用を図る。 また、センター運営費の見 直しにより、経費の削減を図 る。	【中期目標の変更内容】 令和3年度（奇数年度）に 企業アンケートを実施してい るため。
								実績	79.4 %											
					企業における暴力 団排除条項の規定 割合 ※中期目標改訂	55.8% (H25年 度)	目標	単年度目標 設定なし	R3年度比増	R3年度比増	R3年度 比増 (R5年 度)									
							実績	83.8 %												
					企業における暴力 団排除条項の規定 割合 ※中期目標改訂	55.8% (H25年 度)	目標	前年度比増 (隔年調査 のためR2年 度未実施)	R3年度比増	R3年度比増	R3年度 比増 (R5年 度)									
							実績	83.8 %												



【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
	21	①	暴力団員の社会復帰対策推進事業	安全・安心推進課	暴力団の壊滅に向けて、本市に拠点を置く暴力団構成員の「離脱・就労支援対策」を推進し、「日本トップクラスの安全なまち」及び「誰もが安心して暮らせるまち」の実現を図る。	「暴力団離脱・就労相談窓口」での相談回数	—	目標	10回	10回	10回(毎年度)	継続	10,000	3,000	減額	6,550	—	福岡県警察、福岡県暴追センターと連携し、市民等に広く事業の周知を図っていく。警察への相談が難しい暴力団員からの相談を受けるため、相談者が相談しやすい環境を整えた相談窓口の充実を図っていく。		
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	22	⑤	交通安全推進事業	安全・安心推進課	第10次北九州市交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件(H26年)	目標	前年比(4,450件)減	前年比減	前年比減	令和7年までに3,300件以下	継続	11,642	11,178	維持	9,800	順調	引き続き、市民に広く交通安全教育や効果的な広報啓発活動を行い、交通事故防止を図る。	順調
							実績	4,074件												
							達成率	108.4%												
						交通事故死亡者数（警察統計のため暦年でカウント）	23人(H26年)	目標	前年比(20人)減	前年比減	前年比減	令和7年までに15人以下	継続	11,642	11,178	維持	9,800	順調	引き続き、市民に広く交通安全教育や効果的な広報啓発活動を行い、交通事故防止を図る。	順調
	実績	18人																		
	23	⑤		交通安全センター管理運営	安全・安心推進課	北九州市立交通安全センターを管理するとともに、交通安全教室等を開催し、自転車の安全運転や、交通ルール・マナーの徹底を図る。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	8,325件(H26年)	目標	前年比(4,450件)減	前年比減	前年比減	令和7年までに3,300件以下	継続	27,881	27,881	維持	3,650	順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。
実績								4,074件												
達成率								108.4%												
自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）							972件(H26年)	目標	前年比(496件)減	前年比減	前年比減	前年比減(毎年)	継続	27,881	27,881	維持	3,650	順調	交通公園での交通安全指導のほか、出前講座として小学生向け、高齢者向けの交通安全教室を開催しており、今後も交通事故防止について、子どもから高齢者まで幅広く啓発を行う。	順調
	実績	466件																		
							達成率	106.0%												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
II-1-(3)-⑤ 非行や 犯罪を 生まな い地域 づくり	24	⑤	地域防犯対策 事業	安全・ 安心 推進 課	北九州市安全・ 安心条例では、 「市民等は安全・ 安心に関する意識 を自ら高め、行動 すること」「市及 び市民等は相互に 連携を深め、防犯 活動を協力して推 進すること」と定 められている。こ の事業では、市民 の防犯意識を高 め、地域住民の自 主防犯活動を促進 し、安全・安心を 実感できるまちの 実現を図る。	街頭犯罪件数	6,612件 (H25年)	目標	前年比 (2,019件) 減	前年比減	前年比減	前年比 減	継続	28,841	25,179	減額	15,900	順調	生活安全パトロール隊の多 くが結成から10年以上を経過 しており、メンバーの高齡 化・固定化が進んでいること から、パトランキタキュー等 の防犯活動団体との連携を促 進することによって、地域の 犯罪抑止力の強化を図る。 地域の巡回及びパトロール 隊の支援を行う安全・安心指 導員のマニュアル整備等を行 い、街頭犯罪対策を効率的に 実施することにより経費を削 減する。	順調	引き続き、地域住民による 自主防犯活動の促進に加え て、それらの取組を市内外に 広く発信することで、体感治 安の向上及び安全・安心を実 感できるまちの実現を図る。
								実績	2,182 件												
								達成率	91.9 %												
						市民が感じる治安 状況（体感治安）	73.7% (H27年 度)	目標	前年度比 (87.2%) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	28,841	25,179	減額	15,900	順調	生活安全パトロール隊の多 くが結成から10年以上を経過 しており、メンバーの高齡 化・固定化が進んでいること から、パトランキタキュー等 の防犯活動団体との連携を促 進することによって、地域の 犯罪抑止力の強化を図る。 地域の巡回及びパトロール 隊の支援を行う安全・安心指 導員のマニュアル整備等を行 い、街頭犯罪対策を効率的に 実施することにより経費を削 減する。	順調	引き続き、地域住民による 自主防犯活動の促進に加え て、それらの取組を市内外に 広く発信することで、体感治 安の向上及び安全・安心を実 感できるまちの実現を図る。
								実績	84.1 %												
								達成率	96.4 %												
III-1-(1)-④ 市民の モラル・マ ナーの 向上	25	①	モラル・マ ナーアップ関 連条例推進事 業	安全・ 安心 推進 課	条例や基本計画 に基づき下記事業 に取り組む。 ・小倉・黒崎地区 (迷惑行為防止重 点地区)での巡視 活動(過料の適 用) ・地域が実施する 迷惑行為防止活 動に対する支援 ・小学生を対象と したモラル・マ ナーアップ教育 ・モラル・マナー アップに関する広 報啓発	迷惑行為防止に係 る地域活動団体の 増加	82団体 (H26年 度)	目標	前年度比 (102団体) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年 度)	継続	17,773	16,322	減額	6,150	やや 遅れ	引き続き、条例や基本計画 に基づき、地域活動団体への 支援や啓発活動等を実施し、 モラル・マナーアップの推進 に努める。 併せて、地域活動団体の増 加に向け、市民への広報や周 知の強化を行う。また、路上 喫煙率の減少に向け、より一 層巡視に注力する。	やや 遅れ	モラル・マナーアップ推進 のため、より効果的な広報活 動等を行い、条例や基本計画 の認知度を向上させる。 併せて、地域活動団体の増 加に向けた市民への広報や周 知の強化、路上喫煙率の減少 に向けたさらなる巡視への注 力を行う。
								実績	100 団 体												
								達成率	98.0 %												
						路上喫煙率（歩行 者に占める喫煙者 の割合）	小倉 0.17% 黒崎 0.24% (H26年 度)	目標	前年度 (小倉 0.06% 黒崎 0.19%) 以下	前年度以下	前年度以下	前年度 以下 (毎年 度)	継続	17,773	16,322	減額	6,150	やや 遅れ	引き続き、条例や基本計画 に基づき、地域活動団体への 支援や啓発活動等を実施し、 モラル・マナーアップの推進 に努める。 併せて、地域活動団体の増 加に向け、市民への広報や周 知の強化を行う。また、路上 喫煙率の減少に向け、より一 層巡視に注力する。	やや 遅れ	モラル・マナーアップ推進 のため、より効果的な広報活 動等を行い、条例や基本計画 の認知度を向上させる。 併せて、地域活動団体の増 加に向けた市民への広報や周 知の強化、路上喫煙率の減少 に向けたさらなる巡視への注 力を行う。
								実績	小倉 0.08% 黒崎 0.41%												
								達成率	小倉 66.7% 黒崎 —												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標			
Ⅲ-2-(1)-② 地域における 伝統文化の発 掘・継承	26	①	文化財保存補 助	文化 企画 課	伝統文化の継承 者や保存団体の活 動を育成・支援 し、市内の伝統文 化を発掘し、次世 代に継承してい く。	指定無形民俗文化 財保存支援団体数	16団体 (H26年 度)	目標 17 団 体	実績 14 団 体	達成率 82.4 %	17 団 体	17 団 体	17 団 体	17団体 (毎年 度)	継続	1,127	1,127	維持	11,050	順調	優先順位をつけながら、文 化財の保存・活用に努める。	順調	市内の指定文化財につい て、その保存・継承と普及・ 啓発を支援するため、相談体 制の維持と活動に関する補助 金を交付している。 コロナ禍でも保存団体の意 欲は高く、引き続き、優先順 位をつけながら文化財の保 存・活用に努める。
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い 文化芸術の振 興	27	④ ①	芸術文化活性 化事業	文化 企画 課	【劇場・自主事 業】 エンターテイン メントから芸術性 の高い作品まで舞 台芸術全般を網羅 し、幅広い年代層 をターゲットに公 演を行う。また、 北九州芸術劇場オ リジナルの演劇作 品等を制作し、公 演を実施。  【響ホール・自主 事業】 室内楽専用ホー ルの特性を生かした 質の高いコンサ ートや響ホール を拠点として地元 演奏家を積極的に 育てるコンサート を行う。また、響 ホールからの発信 を意識した、オリ ジナリティのある 演奏会を実施。	北九州芸術劇場・ 自主事業入場率	95% (H21年 度)	目標 87 %	実績 78 %	達成率 89.7 %	87 %	87 %	87 %	87% (R5年 度)	継続	107,668	104,668	維持	3,550	順調	北九州芸術劇場や響ホー ルが持つ特性を活かし、多彩で 良質な音楽・舞台芸術等を提 供していく必要がある。その ため、民間プロダクションと の提携や全国の劇場やホール との連携（共同制作）等、事 業の効率化を念頭に置きなが ら、効果的な事業実施に努め ていく。また、引き続き新型 コロナウイルス感染症の影響 が見込まれるが、感染防止対 策の徹底や主催者への支援な ど、安全な催事実施に向けた 取組を行っていく。	順調	今後とも発信力の高い、ま ちの魅力づくりにつながる事 業の実施を目指し、事業内容 を検討し、効率性や収支の観 点も加えながら、事業規模を 維持していく。 アフターコロナに向け、 「映画の街・北九州」という 都市ブランドを更に確立して いくための取組を進めてい く。 新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策を行ったうえ で、アフターコロナを見据 え、より一層魅力的な企画展 等を企画することにより、来 館者数の増加及び満足度向上 を図っていく。
					響ホール事業・響 ホール自主事業入 場率	56% (H21年 度)	目標 65 %	実績 59 %	達成率 90.8 %	65 %	65 %	65 %	65% (R5年 度)										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
28	④ ①		北九州国際音楽祭	文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、令和3年度で34回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州国際音楽祭の満足度	83% (H21年度)	目標 85 %	実績 98 %	達成率 115.3 %	85% (毎年度)	継続	40,000	40,000	維持	1,625	順調	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら、海外のオーケストラやアーティストを招聘するなど、企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の増加及び、満足度の向上を目指す。	
						地域経済への貢献 (直接経済効果)	100,000 千円 (H21年度)	目標 150,000 千円	実績 140,826 千円	達成率 93.9 %	150,000 千円 (R1年度以降毎年度)	継続	27,356	14,300	減額	32,100	大変 順調	引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、国内外の映画等の大規模作品の誘致・支援を進めていく。 特に、新型コロナウイルス感染症に係る入国制限等の緩和に伴うさらなるインバウンド増加を目指し、魅力的な海外作品の誘致・支援に注力していく。	
						都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合	—	目標 17.0 %	実績 28.5 %	達成率 167.6 %	17.0% (R3年度以降毎年度)								
30	⑤ ①		松永文庫企画事業	文化企画課	松永文庫が多数所蔵している貴重な映画資料等を活用し、企画展やイベントを実施し「映画の街・北九州」の魅力発信を行う。	年間来館者数	89,317 人 (H26年度)	目標 10 万人	実績 1.8 万人	達成率 18.0 %	10万人 (毎年度)	継続	10,492	8,625	減額	4,900	遅れ	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行ったうえで、事業を実施するとともに、多くの市民に来館していただくため、より魅力のある展示となるよう、内容の強化等を図っていく。	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
III-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	31	④ ⑪	芸術文化育成 負担金・補助 金	文化 企画 課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標 16 事業	16 事業	16 事業	16事業 (毎年度)	継続	40,350	39,350	維持	5,825	順調	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。		
	32	④ ⑪	文化芸術活動 に対する支援	文化 企画 課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興 基金奨励事業の補 助件数 ※指標廃止	27件 (H21年度)	目標 25 件	25 件		25件 (毎年度)	継続	9,800	27,892	増額	3,825	遅れ	市民の自主的な文化芸術活動を助成し、その内容がレベルアップするような効果的な支援を行っていく。 従来の北九州市文化振興基金に加え、同主旨の補助金である北九州市文化芸術活動活性化支援事業の財源も活用して、内容の充実を図る。	順調	助成制度は、市民レベルでの活動を支えるものであり、市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興のためにも、今後も継続して実施する。
III-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	33	④	美術館企画展 充実事業	美術 館普 及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420人 (H26年度)	目標 240,000 人	240,000 人	240,000 人	240,000人 (R5年度)	継続	118,519	118,088	維持	36,750	やや遅れ	美術館に触れる機会の少なかった児童を対象とした「ミュージアム・ツアー」事業と連携し、来館者の年齢層や個人から家庭への来館単位の変化に合わせた企画展を研究する。また多様なジャンルの展覧会や関連イベントを行うことで来館者拡大に努め、より効果的な広報PRを行うなど、来館者の増加につなげる。	やや遅れ	引き続き魅力ある企画展や特別展を企画するとともに、博物館についてはリニューアルした新たな博物館をPRし、来館者の増加につなげる。美術館についても、来館者拡大につながるよう企画展の内容等を充実させる。
						コレクション展の観覧者数	11,713人 (H26年度)	目標 30,000 人	30,000 人	30,000 人	30,000人 (R5年度)									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
	34	④	博物館企画 展・特別展充 実事業	自然史・ 歴史博物 館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことによって、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。	博物館総入館者数 ※中期目標改訂	369,711 人 (H24年 度)	目標 330,000 人 実績 241,736 人 達成率 73.3 %	450,000 人	500,000 人 (R5年 度)	拡大	63,570	55,570	減額	74,600	順調	引き続き魅力ある特別展を企画していく。また、令和4年度に開館20周年を迎え、リニューアルした博物館をPRし、新規の来館者やリピーターの増加につなげる。  【中期目標変更内容】 令和4年度にリニューアルし、新しくなった博物館をPRすることにより入館者数の増加を目指す。		
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術の担 い手の 育成	35	④	美術鑑賞事業 「ミュージア ム・ツアー」	美術 館普及課	市内の小学3年生を対象に、美術作品の鑑賞体験型のプログラムを作成し、子どもたちに体験してもらうことでシビックプライドの醸成をはかる。	参加校の割合	14% (H29年 度)	目標 100 % 実績 68.8 % 達成率 68.8 %	100 %	100% (毎年 度)	継続	29,214	29,214	維持	25,650	順調	ミュージアム・ツアーの対象者を令和3年度から市内の国立・私立小学校まで拡大している。次世代の担い手の育成は非常に重要な課題であり、シビックプライドの醸成という観点からも、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大させていく。	やや 遅れ	次世代の担い手の育成は非常に重要な課題であり、シビックプライドの醸成という観点からも、子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大していくことが必要である。今後も、教育普及活動（アウトリーチ）やホール等の文化施設における体験活動等、子どもたちの文化・芸術に接する機会の充実に向け、事業を実施する。
	36	④ ⑩	優れた文化・ 芸術との“出 会い”創造事 業	文化 企画課	将来の文化・芸術の担い手を育成し、本市の文化振興をさらに進めるとともに、シビックプライドの醸成につなげていくため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術との“出会い”の場・機会を創造していく。	教育普及事業への 参加者数の増加	2,500人 (H27年 度)	目標 2,100 人 実績 2,153 人 達成率 102.5 %	2,100 人	2,100人 (毎年 度)	継続	6,757	6,757	維持	8,725	順調	実施形態を見直すなどの工夫・検討を行いながら、放課後児童クラブ等、学校外における優れた文化・芸術との“出会い”の場の充実を図っていく。		
	37	④	子どもノン フィクション 文学賞	文学 館	「ノンフィクション」というジャンルの作品を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、全国の小中学生を対象に創設した文学賞。	応募総数	570件 (H27年 度)	目標 1,000 件 実績 770 件 達成率 77.0 %	1,000 件	1,000件 (毎年 度)	継続	9,693	9,310	維持	5,400	順調	全国規模の賞としてふさわしい応募数、内容となることを目指す。また、市内小中学校に直接働きかけを行うなど、市内からの応募数獲得に努める。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
	38	④	林芙美子文学賞	文学館	「放浪記」、 「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。 多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文学的土壌を全国に発信するとともに、これから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的に実施するもの。	「林芙美子文学賞」作品応募数	484件 (H29年度)	目標 500 件	実績 395 件	達成率 79.0 %	500件 (毎年度)	継続	10,839	10,403	維持	4,550	順調	応募者が作家として書き続けていくことのできる力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ち着きつつある。 受賞者のその後の活躍も紹介するなど、広報の充実に努める。	
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術によるまちづくり	39	④	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	83,161人 (H27年度)	目標 100,000 人	実績 43,263 人	達成率 43.3 %	10万人 (毎年度)	継続	63,392	56,019	減額	54,000	やや遅れ	令和5年度も、企画展関連イベントの実施等工夫を行うと同時に、漫画ミュージアムの認知度を上げることで目標達成を目指す。 また、事務事業「北九州国際漫画大賞」は「漫画文化国際発信事業」と統合し、海外へ向けた発信にこれまで以上に取り組んでいく。	やや遅れ アフターコロナを見据えながら、「映画の街・北九州」という都市ブランド確立への更なる取組を進めていく。 各施設の運営については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、より一層魅力的な企画展等を企画することにより、来館者数の増加及び満足度向上を図っていく。 国内外へ「創造都市・北九州」としての都市ブランドを発信し、市民のシビックプライドの醸成につなげる。
	40	⑧ ⑩	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果)	100,000千円 (H21年度)	目標 150,000 千円	実績 140,826 千円	達成率 93.9 %	150,000千円 (R1年度以降毎年度)	継続	27,356	14,300	減額	32,100	大変順調	引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、国内外の映画等の大規模作品の誘致・支援を進めていく。 特に、新型コロナウイルス感染症に係る入国制限等の緩和に伴うさらなるインバウンド増加を目指し、魅力的な海外作品の誘致・支援に注力していく。	
					都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合		—	目標 17.0 %	実績 28.5 %	達成率 167.6 %	17.0% (R3年度以降毎年度)								

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
41	④ ⑪		北九州文学サ ロン管理運営 事業	文化 企画 課	女性俳句の草分 けである杉田久 女・橋本多佳子な どのPR・顕彰に取 り組むとともに、 「北九州文学サロ ン」を拠点とし て、点在する文学 的素材やさまざま な文化資源・文化 的取組みをつなげ る仕組みづくりを 行う。	「北九州文学サロ ン」の来館者数	H28年度 開設	目標 14,000 人	実績 7,245 人	達成率 51.8 %	14,000 人 (毎年度)	継続	10,437	10,437	維持	6,400	やや 遅れ	音楽や絵画など、様々な文 化芸術と文学をつなぎ、魅力 ある企画・取組の実施、情報 発信を行う。 引き続き、地元商店街や大 学生と連携し、新型コロナウ イルス感染症の感染防止対策 を徹底しながら、多くの人が 気軽に文学に接する機会を提 供し、来館者の増加につな がる取組を進める。	
42	⑧ ⑪		松永文庫企画 事業	文化 企画 課	松永文庫が多数 所蔵している貴重 な映画資料等を活 用し、企画展やイ ベントを実施し 「映画の街・北九 州」の魅力発信を 行う。	年間来館者数	89,317 人 (H26年 度)	目標 10 万人	実績 1.8 万人	達成率 18.0 %	10万人 (毎年度)	継続	10,492	8,625	減額	4,900	遅れ	新型コロナウイルス感染症 の感染防止対策を行ったう えで、事業を実施するととも に、多くの市民に文化施設へ 来館していただくため、より 魅力のある展示となるよう、 内容の強化等を図っていく。	
43	④ ⑧		松本清張記念 館研究セン ター・普及事 業	松本 清張 記念 館事 務局	松本清張に関す るあらゆる資料を 収集・整理し、松 本清張の「人と作 品」を研究する調 査研究・資料収集 事業の実施や研究 誌を発行する。ま た、松本清張研究 者に奨励金を贈呈 する研究奨励事業 を実施する。 さらに、企画展 の開催や講演会、 読書感想文コン クールなどの市民 文芸活動支援事業 を行う。	松本清張記念館の 入館者数	58,187 人 (H22年 度)	目標 前年度比 (10,453 人) 増	実績 11,973 人	達成率 114.5 %	前年度 比増 (毎年度)	継続	10,522	11,528	増額	23,250	順調	新型コロナウイルス感染症 の感染防止対策を行ったう えで、より一層魅力的な企画 展・講演会等を企画し、来館 者増及び来館者の満足度向上 を図る。 収蔵品管理について、デジ タルアーカイブシステムを導 入し、研究施設としての機能 向上や利用者の利便性確保に 努める。	
44	④ ⑧ ⑪		北九州市東田 地区ミュージ アムパーク創 造事業	文化 企画 課	いのちのたび博 物館を中核に、文 化施設や商業施設 等が連携し、東田 地区を中心に地域 の活性化や観光客 の誘客に向けた取 組を実施する。	東田地区の来訪者 数（観光客数）	72.7万 人 (H30年 度)	目標 72 万人	実績 28.5 万人	達成率 39.6 %	200万人 (R6年 度)	拡大	6,000	6,000	維持	9,800	遅れ	いのちのたび博物館のほ か、関係施設が連携した企画 展の開催や、周遊ツアーの企 画などを実施し、アフターコ ロナにおける観光需要の増加 に備える。特に、低迷してい る外国人来訪者数の増加に向 けて、インバウンド向け周遊 ツアーの開発・販売の取組を 強化する。	
			東田地区の外国人 来訪者数（観光客 数）	約7千人 (R1年 度)	目標 4,000 人	実績 13 人	達成率 0.3 %	10,500 人 (R6年 度)											



【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
	45	④ ①	日中詩人会議 2023北九州事 業	文化 企画 課	東アジア文化都 市北九州のレガ シーとして、ま た、「文学の街・ 北九州」のプレ ゼンス強化と発信 並びに、国を跨い だ交流が再スタート する「ポストコ ロナ」における新 たな言葉の探求な どを目的に、北九 州市をフィールド に、日本と中国の 詩人による対話、 出版、並びに、朗 読会やトークイ ベントなどの市民交 流事業を行う。	日中詩人会議の参 加者	—	目標 200 人	200 人	200 人	200人 (毎年 度)	継続	5,000	2,000	減額	11,050	—	中国を開催地とし、中国詩 人の旅行費を削減するなど、 事業の見直しを行った。引き 続き、独創的な文化事業を実 施し、都市のポジティブなイ メージを発信することで、文 化事業の成果を今後の文化政 策・都市政策へ還元してい く。		
Ⅲ-2- (3)-① 誰もが 気軽に スポー ツに親 しめる 環境づ くり	46	③ ④	北九州市民ス ポーツ大会	ス ポ ー ツ 振 興 課	「市民皆スポ ーツ」をモットー に、スポーツ・レ クリエーションの 普及振興を図り、 市民の健康で明 るい市民生活に寄 与するため、市内 全域で各種大会や 行事を開催。	市民スポーツ大会 選手参加者数	30,367 人 (H26年 度)	目標 21,000 人	21,000 人	21,000 人	21,000 人 (R1年 度以降 毎 年 度)	継続	3,574	3,354	減額	4,650	順調	多くの市民が参加できる大 会の実施を目指すため、市HP などを活用した積極的な広報 に努める。	やや 遅れ	「誰もが気軽にスポーツに 親しめる環境づくり」を推進 するため、市民に身近なス ポーツ大会開催から、プロア スリートの育成、生涯スポ ーツの普及・振興など、幅広 く事業を展開していく。
	47	③ ④	生涯スポー ツ振興事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	生涯スポーツの 普及・振興のた め、各区において スポーツ教室、 ニュースポーツ体 験会などを開催。	各区における ニュースポーツ及 びファミリース ポーツ大会の参加 人数	12,371 人 (H26年 度)	目標 15,000 人	15,000 人	15,000 人	15,000 人 (R1年 度以降 毎 年 度)	継続	16,506	15,845	維持	4,400	遅れ	各競技団体への補助金を通 して、スポーツ教室やニュー ススポーツ体験会、指導者養成 講座などを継続して実施する ことにより、生涯スポーツの 振興を図る。		
	48	③ ④	総合型地域ス ポーツクラブ 育成・支援事 業	ス ポ ー ツ 振 興 課	地域住民の自主 的な運営により、 身近な地域で様 々なスポーツに親 しむことのできる 総合型地域スポ ーツクラブの育成・支 援に取り組む。	総合型地域スポ ーツクラブの会員数	1,800人 (H22年 度)	目標 4,000 人	4,000 人	4,000 人	4,000人 (R5年 度)	継続	2,600	2,496	維持	2,900	やや 遅れ	総合型地域スポーツクラブ への補助金を通して、市内9 スポーツクラブの活動を継続 的に支援する。 次期計画を令和5年中に策 定予定のため、令和5年度の 中期目標までは、現中間目標 の終期を1年延長したものに する。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
49	④ ①	④	夢・スポーツ 振興事業	スポ ーツ 振 興 課	トップアスリート等の活用により、オリンピック選手など国際、全国大会で活躍する、次世代を担うトップアスリートを育成するとともに、スポーツに対する意欲を醸成する。	選手強化事業参加者数	210人 (H26年度)	目標	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000人 (毎年度)	継続	9,500	9,000	減額	7,900	大 変 順 調	令和4年度より始めた、パラリンピック種目の体験教室を継続して実施することにより、オリンピック種目に加え、パラスポーツに取り組むジュニアアスリートを育成する。
							実績	2,004 人											
							達成率	200.4 %											
						教室・強化講習会等の実施	5種目 (H26年度)	目標	11 種目	11 種目	11 種目	11種目 以上 (毎年度)	継続	9,500	9,000	減額	7,900	大 変 順 調	令和4年度より始めた、パラリンピック種目の体験教室を継続して実施することにより、オリンピック種目に加え、パラスポーツに取り組むジュニアアスリートを育成する。
実績	8 種目																		
達成率	72.7 %																		
III-2-(3)-② スポーツを通じたにぎわいづくり	50	⑤ ⑧ ①	北九州マラソン開催事業	国際 ス ポ ー ツ 大 会 推 進 室	・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数 マラソン：11,000名、ペアリレーマラソン：150組300名、ファンラン(3km又は5km)：1,000名	マラソン大会開催による経済波及効果	10.5億円 (H25年度)	目標	単年度目標 設定なし	11.5 億円	単年度目標 設定なし	11.5億 円 (R8年度 までに)	継続	88,543	88,040	維持	39,500	順 調	北九州マラソンや門司港レトロマラソンなどをはじめとしたスポーツ大会等について、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、安心安全な実施を目指すとともに、大会の開催により、市民のスポーツ・健康に対する意識のさらなる向上を図り、本市の魅力を全国へ発信する。
実績							—												
達成率							—												
インターネットでのマラソン大会全国評価ランキング(参加者7,000人以上の大会を対象)						9位 (H28年度)	目標	1 位	1 位	1 位	1位 (毎年度)	継続	88,543	88,040	維持	39,500	順 調	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、安全・安心な大会運営等を目指すとともに、積極的な広報を行い、認知の向上を図る。	
	実績	—																	
	達成率	—																	
ボランティアリーダー登録者数 ※中期目標改訂	15人 (H30年度)	目標	30 人	50 人	60 人	100人 (R9年度)	継続	88,543	88,040	維持	39,500	順 調	【中期目標の変更内容】 ボランティアリーダー登録者数については、北九州マラソンを'支える人'の増加を目指して50人(R4年度)から100人(R9年度)に変更する。						
	実績	29 人																	
	達成率	96.7 %																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
51	③ ④ ⑪		国際大会・全 国大会等ス ポーツ開催	ス ポ ー ツ 振 興 課	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (H26年度)	目標	30 回	30 回	30 回	30回 (毎年度)	継続	4,000	3,500	減額	3,650	やや遅れ	本制度を活用して、より多くの市民に「みる」スポーツの機会を提供するため、限られた予算でも持続可能な制度となるよう、検討を行う。
							実績	28 回											
							達成率	93.3 %											
52	③ ④ ⑪		ギラヴァンツ北九州支援事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (H26年度)	目標	90 %	90 %	90 %	90% (毎年度)	継続	40,000	35,000	減額	3,075	順調	コロナ対策のため臨時的に増額していた5,000千円は、感染対策が大幅に緩和されたことにより、令和4年度で終了とする。「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続しつつ、市民に愛されるシンボルチームになるよう、ホームゲーム開催時のイベント等について共に検討していく。
							実績	95.8 %											
							達成率	106.4 %											
53	③ ④ ⑪		ホームタウン推進事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「堺プレイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (H26年度)	目標	40 %	40 %	40 %	40% (毎年度)	継続	68,000	68,000	維持	6,575	遅れ	トップスポーツチームの市民観戦や体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図る。また、各チームによる相互告知や協同事業を行い、種目を問わずスポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。
							実績	14.9 %											
							達成率	37.3 %											

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標			
54	③ ④ ⑪		大規模国際ス ポーツ大会等 誘致関係事業	国際 ス ポ ー ツ 大 会 推 進 室	官民一体となっ た「誘致委員会」 による積極的な活 動や誘致プロモ ーションを展開し、 大規模国際ス ポーツ大会の試合会場 を本市に誘致する とともに、誘致前 後のスポーツ交流 や文化交流等の実 施により、生涯ス ポーツの振興やま ちの賑わい創りに 寄与する。	ラグビーワールド カップ2019及び 2020年東京オリ ンピック・パラリ ンピック競技大会 におけるキャンプ地 誘致数	目標					1ヶ国又 は1競技 以上 (R3年 度)											
							実績	4	競技														
							達成率	—															
						東京2020オリ ンピック・パラリ ンピック競技大会、 2021世界体操・新 体操選手権北九州 大会のレガシー構 築における各国と の交流回数 ※指標廃止	目標		5	回		5回 (R4年 度)											
							実績																
							達成率																
						国際スポーツ大会 等の開催	目標		3	件	3	件	3	件	3件 (毎年 度)								
							実績	4件 (H27年 度)	2	件													
							達成率		66.7	%													
						各国との交流回数 ※指標追加	目標					1	回	1ヶ国又 は1競技 団体以 上 (毎年 度)									
							実績	—															
							達成率																

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標			
III-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	55	③ ⑦ ⑧ ⑪	北九州スタジアム維持管理事業	スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。 施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通したまちのにぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実（グラウンドの年間利用日数）	目標	100	日	100	日	100	日	100日 (毎年度)	継続	104,251	104,251	維持	2,750	順調	施設の適切な維持管理及び、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行いつつ、スポーツ利用のほか様々なイベントを受け入れ、「みる」スポーツの充実やまちのにぎわいにつなげる。		
							実績	113	日														
							達成率	113.0	%														
III-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	56	⑪ ⑰	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまで市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	目標	135	団体	136	団体	137	団体	137団体 (R5年度)	継続	314,980	314,980	維持	3,825	順調	住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会に対する地域総括補助金の交付を行う。さらに事業間流用の促進のため、地域への制度説明を徹底するとともに、地域の要望に応じた要綱の見直しを検討する。	順調	引き続き、地域が一体となった市民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や地域で様々な取組を行う各種地域団体等に対し、「地域総括補助金」の交付や各種支援事業などの地域ニーズに応じた施策を展開する。
							実績	136	団体														
							達成率	100.7	%														
	57	⑰	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会を中心としたネットワークを構築し、まちづくり協議会が相互に情報を共有し交流できる場を設けるなど、住民主体の地域づくりを進める。	地域づくり活動への参加者の割合	目標	46	%	50	%	50	%	50% (R7年度)	継続	2,480	1,480	減額	3,575	順調	まちづくり協議会等の地域団体に地域の課題解決に主体的に取り組んでいただくため、まちづくり専門家派遣制度の活用など、地域の実情に応じた支援を行う。また、まちづくり協議会等の地域団体と連携して市民センターを中心とした地域づくりに取り組む。		
							実績	32	%														
							達成率	69.6	%														

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度											R5年度		中期 目標	
Ⅲ-3-(1)-② 地域コ ミュニ ティ施 設の活 用・運 営	58	⑪ ⑰	市民センター の維持管理	地域 振興 課	市民センターの 管理運営を円滑・ 適正に行うため、 公募により多様な 人材を市民セン ター館長として採 用し、地域の活動 を担うまちづくり 協議会への管理委 託などを行う。 また、地域活動 の拠点施設とし ての機能の維持・ 向上を図るため、 老朽化対策等の改 修を計画的に行 う。	市民センター1館 当たりの利用者数	32千人 (R1年 度)	目標	42	千人	42	千人	42	千人	42千人 (毎年 度)	継続	2,765,842	2,500,551	減額	46,250	遅れ	SNS等による情報発信や、 市民センターに係る手続きの オンライン化などのICT技術 活用を検討し、利用者増加に つなげていく。 市民センターを拠点とした 地域づくりを促進するため、 老朽化対策等のハード面を整 備する。	遅れ	SNS等による情報発信や、 市民センターに係る手続きの オンライン化などのICT技術 活用を検討し、利用者増加に つなげていく。 市民センターを拠点とした 地域づくりを促進するため、 老朽化対策等のハード面を整 備する。
								実績	17	千人														
								達成率	40.5	%														
						目標	2,200	千人	2,200	千人	2,200	千人	2,200千 人 (毎年 度)											
実績	881	千人																						
達成率	39.5	%																						
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町 内会へ の加入 促進	59	⑪ ⑰	自治会・町内 会活性化の促 進	地域 振興 課	自治会と連携し ながら、加入率向 上や組織・活動の 見直し及び人材育 成など新たな課題 への対応につな がる様々な事業に 取り組み、自治会・ 町内会の活性化を 図る。	地域づくり活動へ 肯定的な考えの市 民の割合	81.0% (H29年 度)	目標	85	%	85	%	85	%	85% (毎年 度)	継続	28,784	34,084	増額	4,095	順調	自治会・町内会を取り巻く 課題を解決し活性化を促進す るために、マンションの管理 会社等の関係者に積極的に働 きかけていくほか、引き続き 地域コミュニティの重要性や 自治会の必要性について幅広 く理解を求めることに力を入 れていく。 また、ICTを活用すること により、自治会役員の負担軽 減及び若い世代の自治会加入 促進を図る。	順調	自治会・町内会を取り巻く 課題を解決し活性化を促進す るために、マンションの管理 会社等の関係者に積極的に働 きかけていくほか、引き続き 地域コミュニティの重要性や 自治会の必要性について幅広 く理解を求めることに力を入 れていく。 また、ICTを活用すること により、自治会役員の負担軽 減及び若い世代の自治会加入 促進を図る。
								実績	78.7	%														
								達成率	92.6	%														
						目標	46	%	50	%	50	%	50% (R7年 度)											
						実績	32	%																
						達成率	69.6	%																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
Ⅲ-3-(2)-① NPO・ボ ランティア 活動の 支援	60	④ ⑰	NPO・市民活 動促進事業	市民 活動 推進 課	市民活動の促進 に加え、NPOと行政 の協働を推進する ため、活動や協働 等に関する相談・ 助言、情報提供、 研修・啓発等を実 施する。	サポートセンター 利用者数	29,293 人 (R1年 度)	目標 20,000 人 実績 8,256 人 達成率 41.3 %	20,000 人 20,000 人 20,000 人	20,000 人 (毎年 度)	継続	17,434	17,434	維持	19,725	順調	市民活動の更なる促進のた め、新たな活動参加者の掘り 起こしとともに、市民活動団 体を育成するため、セミナー などの実施や相談、情報提供 の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の 実施や情報提供の充実を図っ ていく。 また、NPOへの資金的な支 援を引き続き行っていく。
					新規設立NPO法人 数	17法人 (R1年 度)	目標 15 法人 実績 14 法人 達成率 93.3 %	15 法人 15 法人 15 法人	15法人 (毎年 度)										
	61	④	NPO公益活動 支援事業	市民 活動 推進 課	市民活動の更なる 促進を支援する ため、NPO等が専門 性を発揮して行う 活動に対し、事業 費の一部を補助す る。	補助交付事業件数 (累計)	109件 (R1年 度)	目標 130 件 実績 131 件 達成率 100.8 %	130 件 140 件 150 件	150件 (R5年 度)	継続	2,694	2,694	維持	3,275	順調	地域課題の解決等に取り組 むNPOに対して資金的な支援 と併せて伴走支援を実施する ことで、NPOの成長・自立・ 持続に寄与し市民活動の促進 を図る。		
					成果発表会の参加 人数（累計）	431人 (R1年 度)	目標 580 人 実績 475 人 達成率 81.9 %	580 人 630 人 680 人	680人 (R5年 度)										
Ⅲ-3-(2)-② NPO・企 業、研 究機 関な どの 連携 の構 築	62	⑰	多様な主体に よる市民活動 の輪づくり事 業	市民 活動 推進 課	市民主体のまち づくりを推進する ため、市民活動へ の理解を深め、新 たな担い手の参加 を促すとともに、 NPOと様々な団体間 のネットワークづ くりや協働を支援 する。	NPOと企業・地 域・大学等との協 働件数	4件 (R1年 度)	目標 5 件 実績 15 件 達成率 300.0 %	5 件 5 件 10 件	5件 (毎年 度)	継続	2,566	2,066	減額	2,470	大変 順調	市民活動についてまだ関心 を持っていない市民に対して 活動への興味を高め、理解を 深めることで市民活動の裾野 を広げる。また、多様で複雑 化する社会課題に対応するた めに、NPO同士の連携・協働 につながるための機会を創出 する。	大変 順調	多様な主体による協働を推 進するため、NPO・企業等と の交流会を引き続き実施し、 団体間の協働を推進する。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)						
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標					
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	63	④ ⑰	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	2,146人 (R1年度)	目標	2,250人	2,500人	2,750人	2,750人 (R5年度)	継続	1,206	1,206	維持	6,400	順調	多様な主体による協働を促進するため、人材育成や団体運営力を強化するセミナーや専門家派遣等の充実を図る。						
							実績	2,476人																	
達成率	110.0%																								
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	63	④ ⑰	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	運営改善団体数（累計）	3団体 (R1年度)	目標	9団体	12団体	15団体	15団体 (R5年度)	継続	1,206	1,206	維持	6,400	順調	多様な主体による協働を促進するため、人材育成や団体運営力を強化するセミナーや専門家派遣等の充実を図る。						
							実績	8団体																	
							達成率	88.9%																	
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	64	④ ⑰	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	4件 (R1年度)	目標	5件	5件	5件	5件 (毎年度)	継続	2,566	2,066	減額	2,470	大変順調	市民活動についてまだ関心を持っていない市民に対して活動への興味を高め、理解を深めることで市民活動の裾野を広げる。また、多様で複雑化する社会課題に対応するために、NPO同士の連携・協働につながるための機会を創出する。						
							実績	15件																	
							達成率	300.0%																	
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる市役所づくり	65	④ ⑰	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	サポートセンター利用者数	29,293人 (R1年度)	目標	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人 (毎年度)	継続	17,434	17,434	維持	19,725	順調	市民活動の更なる促進のため、新たな活動参加者の掘り起こしとともに、市民活動団体を育成するため、セミナーなどの実施や相談、情報提供の充実を図る。						
							実績	8,256人																	
							達成率	41.3%																	
						Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる市役所づくり	65	④ ⑰	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数	17法人 (R1年度)	目標	15法人	15法人	15法人	15法人 (毎年度)	継続	17,434	17,434	維持	19,725	順調	市民との協働を推進するため、協働意識向上のための研修、セミナーの充実、NPO・市民活動に関する情報提供に取り組む。
													実績	14法人											
													達成率	93.3%											



【Plan】 計画 / 【Do】 実施		【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
66	4 ⑰		「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	2,146人 (R1年度)	目標	2,250 人	2,500 人	2,750 人	2,750人 (R5年度)	継続	1,206	1,206	維持	6,400	順調	多様な主体による協働を促進するため、人材育成や団体運営力を強化するセミナーや専門家派遣等の充実を図る。
								実績	2,476 人										
67	4		文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数	10,741人 (H23年度)	目標	30,000 人	30,000 人	30,000 人	30,000人 (毎年度)	継続	22,486	17,921	減額	30,950	やや遅れ	リニューアルした常設展示やより多くの市民が興味を持つ企画展の開催により、若年層等の入館者の増加を図り、市民が文学に接する機会を提供していく。
								実績	17,641 人										
68	4		松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (H22年度)	目標	前年度比 (10,453人) 増	前年度比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年度)	継続	10,522	11,528	増額	23,250	順調	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行ったうえで、より一層魅力的な企画展・講演会等を企画し、来館者増及び来館者の満足度向上を図る。 収蔵品管理について、デジタルアーカイブシステムを導入し、研究施設としての機能向上や利用者の利便性確保に努める。
								実績	11,973 人										

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
IV-4- (2)-③ 都市イ メージ の向上	69	⑧ ⑪	映像製作誘致 強化関連事業	文化 企画 課	映画・テレビド ラマ等のロケ地誘 致や撮影支援を積 極的に行い、本市 の知名度と都市イ メージの向上を図 る。 また、活動成果 の市民との共有 や、「映画の街・ 北九州」という都 市ブランドの発信 により、街のにぎ わいの創出や市民 交流等のまちづく りにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果)	目標	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (R1年度 以降毎 年度)	継続	27,356	14,300	減額	32,100	大変 順調	引き続き新型コロナウイ ルス感染症の感染防止対策を徹 底しながら、国内外の映画等 の大規模作品の誘致・支援を 進めていく。 特に、新型コロナウイルス 感染症に係る入国制限等の緩 和に伴うさらなるインパウン ド増加を目指し、魅力的な海 外作品の誘致・支援に注力し ていく。	順調	アフターコロナを見据えな がら、「映画の街・北九州」 という都市ブランド確立への 更なる取組を進めていく。
							実績	140,826 千円												
							達成率	93.9 %												
						都市ブランド「映 画の街・北九州」 を広めたいと思 う市民の割合	目標	17.0 %	17.0 %	17.0 %	17.0% (R3年度 以降毎 年度)									
							実績	28.5 %												
							達成率	167.6 %												